【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和7年2月28日(2025.2.28)

【国際公開番号】WO2023/248939
【出願番号】特願2024-528963(P2024-528963)
【国際特許分類】
H04N 25/772(2023.01)
H04N 25/78(2023.01)
【FI】
H04N 25/772
H04N 25/78

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月4日(2024.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２９】
なお、ここでは、基準電流源９０は、読み出し回路６０が備える複数の電流源６２のそれぞれとカレントミラー回路を形成する電流源であるとして説明するが、読み出し回路６０が備える複数の電流源６２のうちの少なくとも２個の電流源６２のそれぞれとカレントミラー回路を構成する電流源であれば、必ずしも、読み出し回路６０が備える複数の電流源６２のそれぞれとカレントミラー回路を形成する電流源である構成に限定される必要はない。この場合、基準電流源９０は、これら少なくとも２個の電流源６２に流れる電流を統一的に規定する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４２】
図９に示すように、制御部７０は、画素アレイ４０の列毎に、画素信号を出力する画素３０からなる画素グループ１００である読み出し実行画素グループが有する第１の垂直信号線５０に電流を流す電流源６２を第１のアクティブ状態、すなわち、第１の電流量の電流を流す状態とすることで、読み出し実行画素グループが有する第１の垂直信号線５０に第１の電流量の電流を流し、他の電流源６２を第２のアクティブ状態、すなわち、第１の電流量より少ない第２の電流量の電流を流す状態とすることで、読み出し実行画素グループ以外の画素グループ１００が有する第１の垂直信号線に第２の電流量の電流を流す。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８３】
電源配線３７Ｄは、画素３０Ｃを備える画素グループ１０１が備える電源配線５１に接続される。
【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８５】
画素アレイ４０Ｃの各列において、電源配線５１Ａは、第１の画素グループ１０１Ａが備える画素３０Ｃの電源配線３７Ｄに接続され、第２の半導体チップ１２側のノード（ここでは、後述するノード２ＡＤ）に接続されるノード２ＡＣを有する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８６】
画素アレイ４０Ｃの各列において、電源配線５１Ｂは、第２の画素グループ１０１Ｂが備える画素３０Ｃの電源配線３７Ｄに接続され、第２の半導体チップ１２側のノード（ここでは、後述するノード２ＢＤ）に接続されるノード２ＢＣを有する。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８７】
画素アレイ４０Ｃの各列において、電源配線５１Ｃは、第３の画素グループ１０１Ｃが備える画素３０Ｃの電源配線３７Ｄに接続され、第２の半導体チップ１２側のノード（ここでは、後述するノード２ＣＤ）に接続されるノード２ＣＣを有する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８８】
画素アレイ４０Ｃの各列において、電源配線５１Ｄは、第４の画素グループ１０１Ｄが備える画素３０Ｃの電源配線３７Ｄに接続され、第２の半導体チップ１２側のノード（ここでは、後述するノード２ＤＤ）に接続されるノード２ＤＣを有する。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２６９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２６９】
図２１に示すように、画素アレイ４０Ｆは、実施の形態２に係る画素アレイ４０Ｅから、各列において、Ｎ個の画素グループ１１０がＮ個の画素グループ１１１（図２１における第１の画素グループ１１１Ａ、第２の画素グループ１１１Ｂ、第３の画素グループ１１１Ｃ、第４の画素グループ１１１Ｄが対応）に変更されて構成される。